

インターバンクの声（2016年11月9日）

それが正しいのかどうかは別にして、米大統領選で民主党クリントン候補が当選する可能性が高まったとして、市場は従来からのクリントン候補の勝利ならドル買いという想定通りにドル買いを進めている。昨夜のロンドン、ニューヨーク市場では、東京市場のドル高値からさらにドルが上昇、投票結果が出るまで105円乗せは難しいとも思われていたが、いったん104円台中盤に下げた後、複数の州でクリントン候補が優勢との集計が公表されてから105円台前半に上昇しての取引が続いている。早ければ日本時間の昼過ぎにも第58代アメリカ合衆国大統領が誕生するが、劣勢が伝わるトランプ候補が早くも投票の過程に問題があったなどの難癖を付け始めているようで、投票結果が判明した後に恒例となっている勝者への敗北を認める電話をかけない可能性があることまで報じられている。このままクリントン候補の優勢が続くようであれば、どのタイミングでもう一段のドル買いに動くのかが気になるが、序盤は欧州連合(EU)残留派が優勢と伝わった後に大どんでん返しのEU離脱となった6月の英国民投票のこともあり、午前中は慎重になる投資家が多いかも知れない。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。